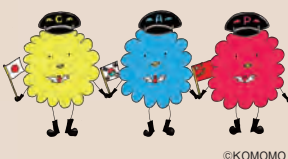


日中韓



CAMPUS ASIA PROGRAM

CAP 新聞

2014.06 第5号

編集長・山本すみれ 制作・近藤健一

毎学期ごとに発行し、新しい情報をお届けします。

5月号は、中国の学生生活や、中国語の勉強法など、中国に関する情報を満載しています。

2年目を迎えます。

CAP 新聞

特集 外国語 どうやって話していますか?

昼 下がりの空き教室、語学学習について日中韓の学生4人で対談式インタビューを行いました。

山本 「今回は外国語をどのように喋っているかというテーマです。まずは、外国語をどんな風に見ているのか。例えば外国語を習い始めた時にどう思っていたのか、ちょっと聞かせて下さい」

イールン 「韓国語の文字を一つ一つ組み合わせさせて話すのが妙だなと。本当にこんな文字を見て話すようになるのか?そんなにペラペラしゃべれないよって」

石田 「中国語勉強し始めた時は、どうやって出しているのか分からない音を中国人の先生が自然に発音して話すのを見て感動した。なに!この音!?って」

ソヒョン 「日本語はTVゲームで覚えたので、抵抗感は全くなかった。というか、ゲームをするために覚えた(笑) 中国語はある先生のせいですごく嫌な思いをして、それから二度と中国語を学ぶ機会はないと思っていたけど、大学に入って学ぶようになった(笑) 中国語は面白い。聞いているだけ



で面白いと感じる。中国語が好きになった」

山本 「中国語と韓国語は同時に始めたけど、韓国語はできなくて嫌だと思ってた。中国語の方が好きだったけど、2年前から勉強し始めて韓国語の方が好きになって逆に中国語をやらなくなった。中国語嫌いになったね(笑)」

イールン 「どうしよう(汗)」

山本 「でも中国来てからちょっとずつ中国語をこう話したらいいんだってという感覚が分かりはじめて…今はちょっと好きになってきたみたい。そういう抵抗感みんなはなかった?」

イールン 「ありましたよ」

一同 「(苦笑)」

イールン 「僕は1回生の後期、韓国人留学生と交流したけど全く話せなかった。けど、キャンパスアジアに入ってから徐々に話せるようになって喜びが生まれました」

石田 「私は韓国行った時、皆はもう韓国語話せるから韓国語聞くのも話すのも怖かった。私が間違えたら皆がそれに気づくのが嫌で…今は平気だけど、中国語は語順がごちゃごちゃで全く言葉が出ないし、リスニングも皆にまだ追いついてなくて、何言ってるの!?ってパニックになる時がある」

▶▶▶ なか面につづく

*タイトルのキャラクターは、国際コミュニケーション専攻の松山小桃さんに描いて頂きました。ご協力ありがとうございました。

キャンパスアジアの

SNS事情って!?

3カ国も渡り歩くと、スマホにはたくさんのSNSアプリ。友達との連絡はもちろん、勉強にだって活かしています。



LINE
KAKAO
FACEBOOK
WEECHAT,QQ

どんな風に使ってますか?



◇東西大学校 カク・レジナ
コミュニケーション
ラインやカカオトークなどを使って、外国人の友達とやりとりをしています。単なるおしゃべりだけでなく、語学や文化に関する質問や、おすすめのドラマや映画の話など内容は様々ですが、「外国語で話す」ということ自体がとても勉強になっています。



◇立命館大学 丸山紗代
好奇心
ツイッターで海外アーティストをフォローしています。好きなアーティストの眩しさを、読みたいと思うのは当然ですが、それが外国語の勉強にも役立っているのも、正に一石二鳥です。海外ファンならではのSNS活用法と言えるでしょう。



◇広東外語外貿大学 黄文文
翻訳
日本のアーティストがSNSで発信した情報を中国語に翻訳していますが、日本語が分からない中国人ファンとも情報をシェアできる喜びを感じています。堅い表現、話し言葉全てを翻訳するのですが、とても勉強になります。

広州トヨタ自動車

みなさん

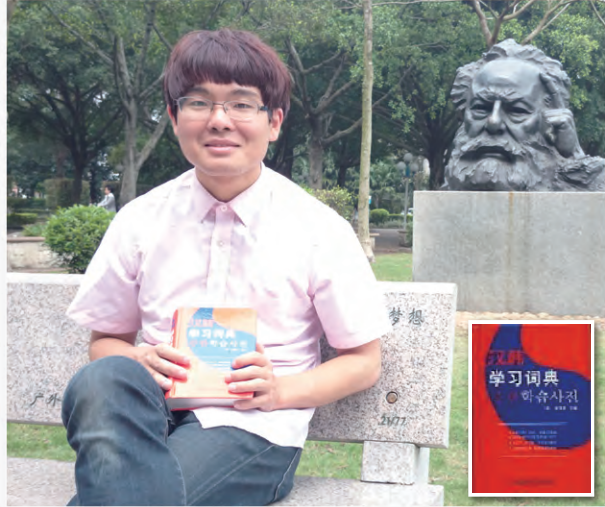
広東外語外貿大学付属の継続学院には、4カ月毎にトヨタ自動車の社員が日本語を教えるという取り組み。組立、技術、生産管理など彼らの所属先は様々だが、授業は文法や会話など1日7時間以上のハードスケジュール。4ヶ月間は、職場を離れ、大学の宿舎に泊まる。職場には、日本語を学んだら、協力し合おう!と、みんな頑張る。努力を、発見した。(近藤健一)



同僚も多く、日本語が飛び交うこともしばしば。職場に戻れば同僚と日本語で話してみたい。研修期間が終わっても勉強は自分で行いたい」

「彼らは経済で、うい中韓。こんな所にも大きな努力を、発見した。(近藤健一)」

つなげる、ひろげる、キャンパスアジア ▶▶▶ FOCUS ON A BOOK.



「今の私にこの一冊」 吉積皓平
インタビュー…山本郁子

漢韓学習词典(漢韓學習辭典)
(韓)金賢珠 主编 外语教学与研究出版社

留学生活を通じて、共に語学や専門分野の勉強を頑張ってきたパイロット学生たち。とはいえ、自習となるとそれぞれ違った勉強法があるものです。外国での留学生活となると、情報源はインターネットになりがちですが、やはり学生が一番頼りにしているのは書籍です。今回は、日本人学生の吉積皓平さんに普段どのような本で勉強をしているのかを伺いました。「気になった時に調べたり、暇な時に読んでいます」

「漢韓学習词典」。韓国語と中国語を同時に勉強するうちに、その共通点や類似点に気づき、だんだんと言葉の構造そのものに関心を持ち始めたそうです。授業で学んだ内容を補うだけでなく、自習というわけではないようです。「普段から、同じ漢語圏だから似ているんだなと感じる言葉も、改めて本で勉強するとその構造が理解出来て面白いんです。」授業で生まれた疑問をそのままにせず、留学先で手に取った書籍で勉強することは、学生にとっては難しくても楽しい学習方法と なっています。

桂林でモテ期到来
メン・ハンジェ

3月上旬、僕は旅行で桂林に行ってきました。桂林の山々は美しく聳え、湖面にはキラキラと魚が飛び跳ねていました。



事件は2日目に訪れた少数民族の村で起こりました。村に着いた途端なんとその「彼女いるの?」と聞いてきたので「いないよ」と答えたら、地元のカイドさんが「こりゃ結婚するしかない!」って言うんです。まさか中国で逆プロポーズされるとは…(笑)

結婚したいけど、彼女があらず悩んでいるそのボツチャリ男子のみなさん!桂林へ1度行かれてみてはいかがですか。きょうモテ期がやってきました!